

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	大伯 昌司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	担当課が自己評価した事業実施度の「実施できなかった」「実施していない」事業については、第1次実施計画進捗状況の中で、新たに担当課名等を明記し公表していく。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	成果指標である審議会等女性委員割合が下がっていることから、室として委員を推薦できる体制を充実させるとともに、同体制を周知していく。
②①に基づく取組み結果	男女共同参画推進計画第1次実施計画の進捗状況について、実施していない1事業について担当課名を明記したうえで、市ホームページで公表した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁内各課	意図(対象をどうするのか)	全庁的に計画を推進することで、職場や家庭、地域等様々な場で女性の参画を促進していく。
②事務事業の概要	「鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画」は、平成23年度から平成32年度までを計画期間としており、男女共同参画社会の形成に向けた目標、施策の方向性等を定めている。 この計画の推進にあたっては、男女共同参画推進懇話会を設置しており、学識経験者、公募による市民代表者から、広く意見を求めている。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化、経済の低迷等から家庭や職場、地域等あらゆる分野において男女が支え合いながら能力を発揮していく男女共同参画社会の形成が重要となる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	男女共同参画推進懇話会の開催状況:会議開催回数3回、延べ出席者数27人						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	審議会等女性委員割合	24.5	24.5	21.8	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	220	189	金額(千円)		内容	281	
国支出金(千円)			177		男女共同参画推進懇話会委員報酬		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	220	189				281	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	男女共同参画意識の醸成には、男女共同参画室をはじめとする庁内各担当課の「男女共同参画推進計画」に基づく、女性委員を推薦できる体制の充実など、地道な事業の実施が必要					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	計画の進行管理において、各事業の実績を踏まえた課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	大伯 昌司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	センターの認知度を高めるとともに利用促進を図るため、きりり会館への移設を契機に、市民が利用しやすい環境を整えるべく、工事担当課と協議のうえ男女共同参画室の意見を反映させていく。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	センターの役割や機能等について、あらためてセミナー、広報、ホームページ等あらゆる機会(媒体)を通じ、PRをしていくことで利用促進を図る。
②①に基づく取組み結果	きりり会館への移設にあたり、工事担当課との綿密な協議により、市民が利用しやすい環境を整えることができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・職員・事業所	意図(対象をどうするのか)	セミナーの実施や情報誌の配布により、男女共同参画意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画推進センターは、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会実現の活動拠点施設として設置した。この施設は、「学習・研修」「情報収集・提供」「相談」「交流」「活動支援」「調査・研究」等の事業を実施している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や経済の低迷といった社会の中で、男女共同参画意識の醸成を行い、男女共同参画社会を形成していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	男女共同参画週間事業、行政・市民企画セミナー等を実施し、延べ595人の参加を得られ、市民編集委員による企画・立案のうえ、情報誌を発行し市内全戸配布を行い、男女共同参画意識の醸成を図った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	男女が平等であると考える市民割合			20.1	%	市民意識調査
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	8,125	5,703	金額(千円)	内容	7,029		
	国支出金(千円)		918	プロジェクトマネージャー報酬			
	県支出金(千円)	3,184	2,519	非常勤職員賃金			
	市債その他(千円)		459	印刷製本費			
	一般財源(千円)	4,941	5,703	846	女性のための相談業務委託	7,029	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	社会情勢等を考慮し、時代のニーズを的確に把握したセミナー等の実施が課題					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	各種事業の参加状況やアンケート結果を踏まえたうえで課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					